

地域づくり協議会だより 71号

発行日：令和4年9月1日 発行者：葉栗連区地域づくり協議会

一宮市大毛字南出120番地（葉栗出張所内） 電話：28-9001

葉栗連区の人口と世帯数 <2022.8.1 現在> 人口 16,379人（男 8,001人 女 8,378人）世帯数 6,818世帯

☆ 無病息災、コロナ退散を願い 輪くぐり 坂手神社（佐千原） ☆

7月16日午前、佐千原の坂手神社で、無病息災を祈願する茅の輪づくりが行われました。宮総代をはじめ町内関係者によって直径約1.8メートルの茅の輪を作製。同日午後からの宮司による夏越の祓ののち、18日までの間「茅の輪くぐり」が行われました。

この輪くぐりも、コロナ禍の影響によりこの2年見送られてきましたが、「今年は災厄と疫病（コロナ）退散を願って実施することとしました」（佐藤宮総代）とのことで、多くの町民の方が参拝に訪れ、8の字に3度くぐり抜ける輪くぐりで暑気払いをしました。



写真上
・ 災疫と疫病退散を祈願
写真左
・ 茅の輪づくり
・ みんなで担いで茅の輪を設置

☆ 1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭 光明寺公園球技場 ☆

7月31日（日）午前6時30分から第61回1000万人ラジオ体操が光明寺公園球技場で開催され、葉栗連区からも多数の方が参加されました。この様子は、NHKテレビの実況生中継として全国に放映されました。

このラジオ体操は、1928年（昭和3年）にかんぽ生命の前身である逓信省簡易保険局によって制定され、東京中央放送局からラジオ体操放送が開始されました。

1963年（昭和28年）には1000万人ラジオ体操が開始され、第39回の開催は名古屋市で行われました。



ラジオ体操は一人ひとりが心豊かに活き活きと過ごせる社会の実現に向けて、全国各地で実施されています。

葉栗連区においても、島村の若栗神社やちびっこ広場で毎朝実施されています。

お子さまからご年配の方まで、幅広い世代の方々に気軽に参加できるラジオ体操を各町内でも始めてみませんか？

ラジオ体操を通じて地域の方々がつながるコミュニティの場になると思います。



☆ 7月15日(金) 夏の交通安全一斉監視活動実施 ☆

小雨の降る中、登校する児童や通行車両、自転車などへ町会長、老人クラブなど地域の諸団体の協力の下、交通安全の呼びかけをしました。

交通事故は、いつ、どこで起きるかわかりません。交通事故ゼロの日や一斉監視活動の日だけではなく、常日頃から人も車も交通ルールを守り、安全で安心な地域になるよう心掛けていきたいと思います。

次回の一斉監視活動は、9月27日(火)です。



☆ 杉山町内 いきいきサロン ☆

毎月1回、第2土曜日に開催し今年で7年目になります。

初めは25名ぐらいでしたが、コロナ禍の影響もあり、現在は13名前後で開催しています。

軽体操、ティータイム、ゲームなどを取り入れ、午前9時から11時まで和気あいあいとして過ごしています。

この7月はスイカの差し入れがあり、ティータイムはスイカタイムになりました。

今回は紙芝居を4人で分担し、慣れない語りに苦労しながら演じましたが、参加者からは大きな拍手があり、出演者はホッとしていました。



続いて、モルックというゲームを行いました。

このゲームは、丸い棒(モルック)を投げて12本の木製のピン(スキttl)を倒し得点を競い、2グループ以上に分かれて行います。どちらかのチームが合計得点50点ピッタリとなるまで勝負が続きます。

発祥地はフィンランドです。モルックを投げるのにあまり力は必要としないため、誰でもが気楽に楽しめます。

杉山いきいきサロンでは、人との交流、心の癒し、健全な体づくりのお手伝いになればいいと考え活動を続けています。
(会長：今井 昇 ☎0586-51-1749)

☆ 恒例の『島文楽』虫干し ☆

8月7日(日)、「島文楽保存会」による恒例の虫干しが島村公民館で行われました。蔵に保管されている60点余りの人形が虫干しのため並べられ、髪を整えたり、着物のほころびや人形の修理など保存会会員が手際よく作業を行いました。

午前11時と午後2時に練習を兼ねて「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」、「傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段」が披露されました。来年も8月第一日曜日に開催を予定しています。ぜひお出かけください。

なお、10月6日(木)葉栗中学校、10月11日(火)葉栗北小学校で授業公演があります。



☆ 君もサバイバルマスターになろう ☆

138タワーパークでは、防災チャレンジ「サバイバルマスターになろう」と題し7月24日（日）、【シェルター編】（災害時の住まいの確保）が開催されました。

参加した親子は、テントを張る場所の確認から始まり、日当たり、風向き、テントの張り具合など、取扱説明書を参考に慣れないテント張りに、知恵を出し協力しながら挑戦していました。

講師からは、災害が発生した時、速やかに住まいの確保をする必要性、周りにある木や石などを使い道具の代わりにする工夫、生き抜くために発想の転換が必要なことを学びました。

参加者の両親からは「ロープの結び方など、日頃の生活の中でも活用ができ、大変有意義な講座です」との声がありました。

この企画には、葉栗連区地域づくり協議会も協賛しています。ぜひ一度、参加してみませんか？
今後の開催は8月28日（日）【ウォーター編】、10月9日（日）【SOS編】を予定しています。
（事前予約必要 138タワーパーク事務所 ☎51-7105）



☆ 「回収資源」が少なくなって困っています！！ ☆

地域では毎月1回、資源の回収を行っています。

その資源回収の還元金は、町内会、老人会、子ども会、中学校PTA、小学校PTA、保育園PTAの6団体の活動資金に充てられています。近年、一宮市から地域への事業予算配分は年々減額され、自力活動の資源回収の還元金も減少してきています。

資源回収の還元金は、保育園PTAでは、移動動物園の開催など園児の思い出づくりの費用に、小学校では、消耗品購入などに充てられています。

しかし、頼みの回収資源は年々減少し、過去5年間の資源回収量で約21%、還元金で約45%の減少になっています。これでは、地域の活動が先細りになりかねません。

地域の皆さんには、「資源回収」の意義を理解していただき、各町内会が担当している資源回収場所に持ち出してくださいませようご協力をお願いいたします。

今後の町内資源回収日

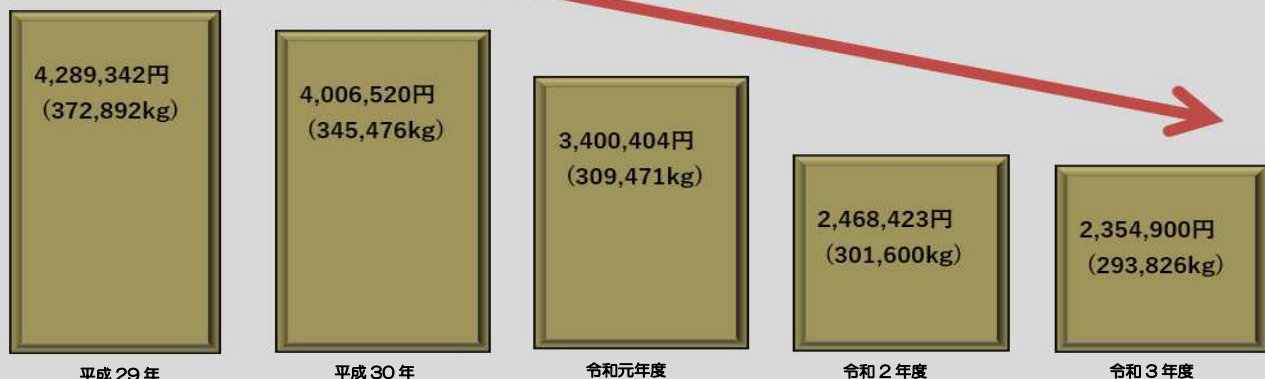
※10月17日（月）子ども会

※11月21日（月）小学校PTA

※12月19日（月）町内会・老人会

回収資源還元金額の推移

還元金額: 単位円



歴史を知る

はぐりの神社・仏閣

金嶺寺



☆ 2度の災禍を乗り越えて、地域への協力・交流に尽力～金嶺寺 ☆



県道 150 号線（タワー通り）を 138 タワーパークに向かって北進。大毛の信号交差点から 200m 程行ったところの右手に見えてくるのが臨済宗妙心寺派金嶺寺。

この金嶺寺は、第 5 代将軍徳川綱吉の生母桂昌院所縁の初代高富藩主本庄道章が、享保 2 年（1717 年）に建立し、節外禅師を請じて開祖として始まった寺といわれています。

この地域における歴史は、明治 21 年（1888 年）7 月に石井不染和尚（現任職の曾祖父）が同家敷地内の現在地に移転し、秋葉堂を建立。

しかしその 3 年後、明治 24 年（1891 年）10 月 28 日濃尾地震により全壊、のちに再建するも昭和 34 年（1959 年）9 月の伊勢湾台風で再度全壊。

度重なる苦難を乗り越えて、現在は昭和 8 年建立の本堂兼庫裡をもって、平成 3 年に現任職の石井康州住職が就任し、今に至っています。

また石井住職は、大毛子供会ソフトボールチーム指導者として一宮市大会で優勝（平成 5 年）、また平成 24 年より葉栗連区児童育成協議会に参加（前同協議会会長、現相談役）、同時に地域づくり協議会役員として、町内会役員と一緒に地域の諸課題に取り組むなど、地域への協力や交流を大切にされた活動をされています。



↑ 金嶺寺庭園の馬石、奥に亀石

← 大仏阿弥陀如来

葉栗弘法第 9 番 →



葉栗連区連区敬老会について

葉栗連区敬老会は、新型コロナウイルスの感染防止から、開催は中止となりました。

対象者である 76 歳以上（昭和 21 年 12 月 31 日までに生まれの方）に、お祝いとして『お買物券』を郵送します。

葉栗連区内の『お買物券』が使えるお店が表示してありますので、切り離してご利用ください。

使用期限は、令和 4 年 10 月 31 日（月）までです。期間内にご利用をお願いします。

簡単料理教室の募集

開催日：10月7日（金）・10月21日（金） 午前 10 時から

参加を希望される方は、葉栗公民館事務室前の参加申込箱に申込書を投入ください。

定員：15 名 参加費無料 場所：葉栗公民館料理実習室 参加資格：葉栗連区在住の 65 歳以上の男性



お買物券見本